

観る

おすすめスポット

自然の宝庫・福島潟

水の郷百選に選ばれた福島潟は全国初「水の駅」として、自然文化でまちづくりを展開しています。豊かな自然に恵まれ、国指定福島潟鳥獣保護区に指定されており、全国的にも希少となっている植物の北限の地でもあります。

220種類以上の野鳥・800種類の植物が確認されている自然の宝庫。直径2mの葉を持つ巨大な「オニバス」の日本北限の自生地であるほか、国の天然記念物「オオヒシクイ」の越冬数は日本最大級を誇ります。



サワオグルマ▲

水の駅「ビュー福島潟」

美しい映像や展示で、潟の歴史や潟が生む動植物を紹介する情報発信施設です。このほか、通年営業温水プール「遊水館」や、水環境の大切さを学ぶ「新潟県立 環境と人間のふれあい館」、セルフ式の蔵の宿「菱風荘」など、遊べる・学べる施設も充実しています。

- 営業時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
- 入場料 大人520円/小中高生260円
- 定休日 毎週月曜日(祝日の場合翌日)
- お問合せ 電話 025-387-1491
〒950-3328 新潟県新潟市北区前新田乙493
- ◆国道7号線新バイパス豊栄1.Cから水の公園福島潟まで車で10分。
- ◆JR豊栄駅から水の公園福島潟まで徒歩で30分、タクシーで5分。
- ◆水の公園福島潟から月岡温泉まで車で15分。



絶滅危惧種に指定されている大型の水生植物で、大きなものでは葉の直径が2mを超えることも。

福島潟のオニバス

■花時期 7月上旬～9月中旬

オニバス(鬼蓮)

スイレン科の一年生水草で、日本の池や沼に生えて、夏には鮮やかな花を咲かせます。全体的にトゲを持ちます。葉は水面に浮かび皺があり、裏面は赤色または紫色で直径は2～3mにもなります。夏にはトゲの多い花柄を出して紫色花を開き、液果を結びます。地下茎は食用として、種子は生薬名【芡実(けんじつ)】といって、強壮剤として用いられます。福島潟が日本北限の自生地とされています。



夏には鮮やかな花を咲かせます



無料休憩施設 湯来亭

ヨシぶき屋根の無料休憩施設「湯来亭」。いろいろを囲みながら、管理人さんが地元の方言で昔ながらの福島潟の暮らしや季節の見どころについて教えてください。夜間は貸切利用も可能です。お問い合わせは水の駅「ビュー福島潟」へ。

“北区の鳥” オオヒシクイ

国の天然記念物にも指定されている“オオヒシクイ”は、ガンの仲間としては最大の鳥で、羽を広げると1m60cmほどにもなる大型の渡り鳥です。福島潟は日本有数のオオヒシクイの越冬地として知られ、9月下旬から飛来しはじめ、5000羽以上が越冬します。翌3月に故郷のカムチャツカへ向け、2400Kmの旅路へ飛び立っていきます。毎年冬になると、県内外から多くの野鳥愛好家がオオヒシクイを目当てに福島潟を訪れています。

